ボーリング柱状図

調査名	千葉市斎場会館（仮称）建設地地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo.	
シートNo.	

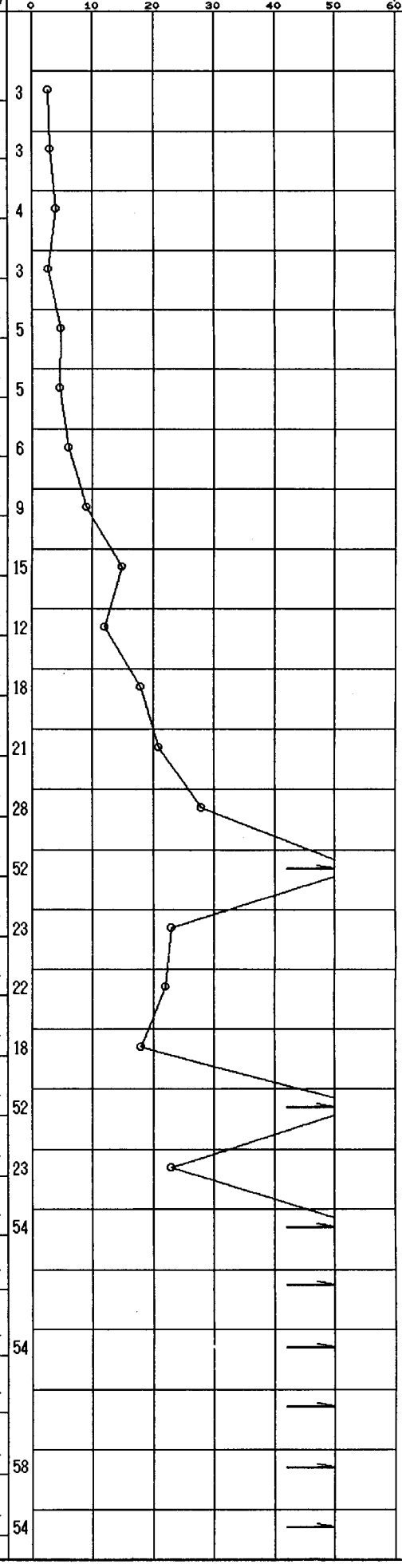
ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市緑区平山町地内他1			北緯	
発注機関	千葉市役所　建設局　土木部　工務課			調査期間	平成12年 1月22日～12年 1月26日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=+32.57m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試錐機: YBM 05-BA2 / ハンマー落下用具: コーンフ・ーリー
総掘進長	25.43m								エンジン: YANMAR NFAD8 / ポンプ: YBM G-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	31.77	0.80	0.80		表土（粘性土）	暗褐			全体に、有機質ロームからなり草根を混入する。含水少ない。
1～4	27.87	3.90	4.70		ローム	黄茶褐		軟らかい	全体に、均質で炭化物，砂，スコリアを混入する。部分的に、粘土質となる。含水中位。
5	27.07	0.80	5.50		凝灰質粘土	黄褐		中位	全体に、不均質で砂，浮石，炭化物を混入する。含水中位。
6～8	23.97	3.10	8.60		粘土質細砂	淡黄灰	緩い		全体に、粒子不均一で粘土，浮石，炭化物を多く混入する。含水少ない。
9～17	14.77	9.20	17.80		シルト混じり細砂	黄褐～暗褐	中ぐらい～非常に密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを混入する。部分的に、粒子不均一となり中砂を混入する。含水少ない。
18～25	7.14	7.63	25.43		シルト質細砂	暗褐	非常に密な		全体に、粒子均一でシルトを多く混入する。含水少ない。

孔内水位(m)／測定月日: 12.82 ▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	1	3/34	3
1.49 / 2.15	1	1	1	3/30	3
2.45 / 3.15	1	1	2	4/30	4
3.45 / 4.15	1	1	1	3/33	3
4.48 / 5.15	1	2	2	5/32	5
5.47 / 6.15	1	2	2	5/33	5
6.48 / 7.15	2	2	2	6/30	6
7.45 / 8.15	2	3	4	9/30	9
8.45 / 9.15	3	5	7	15/30	15
9.45 / 10.15	3	4	5	12/30	12
10.45 / 11.15	3	6	9	18/30	18
11.45 / 12.15	4	6	11	21/30	21
12.45 / 13.15	6	8	14	28/30	28
13.45 / 14.15	12	22	16/9	50/29	52
14.44 / 15.15	6	7	10	23/30	23
15.45 / 16.15	4	6	12	22/30	22
16.45 / 17.15	4	6	8	18/30	18
17.45 / 18.15	13	18	19/9	50/29	52
18.44 / 19.15	6	8	9	23/30	23
19.45 / 20.15	11	15	24/8	50/28	54
20.43 / 21.15	24	26/9		50/19	
21.34 / 22.15	14	17	19/8	50/28	54
22.43 / 23.15	11	33	6/3	50/23	
23.38 / 24.15	12	21	17/6	50/26	58
24.41 / 25.15	14	15	21/8	50/28	54
25.43					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
2.00		Ⓣ	物理 力学
2.75			
7.00		Ⓢ	物理 力学
7.65			
15.00		Ⓢ	物理 力学
15.70			

掘進月日

ボーリング柱状図

調査名	千葉市斎場会館（仮称）建設地地質調査業務委託	ボーリングNo.	
事業・工事名		シートNo.	

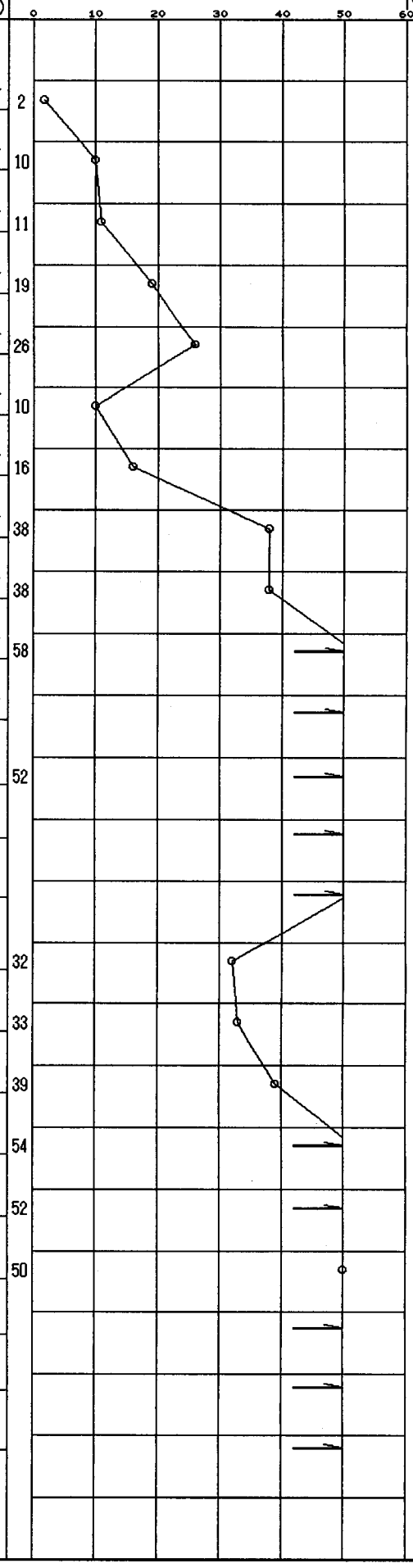
ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市緑区平山町地内他1			北緯	
発注機関	千葉市役所　建設局　土木部　工務課			調査期間	平成12年 1月17日～12年 1月22日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=+33.92m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	23.23m					試錐機	YBM 05-BA2	ハンマー落下用具	コーンフ゜ーリー
						エンジン	YANMAR NFAD8	ポンプ	YBM G-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	33.52	0.40	0.40		表土（粘性土）	黒褐			全体に、有機質ロームからなり草根を混入する。含水少ない。
1 2 3	30.82	2.70	3.10		ローム	黄茶褐		軟らかい～硬い	全体に、均質で炭化物，砂，スコリアを混入する。部分的に、粘土質となる。含水中位。
	30.22	0.60	3.70		凝灰質粘土	黄褐		硬い	全体に、不均質で砂，浮石，炭化物を混入する。含水中位。
4 5	28.22	2.00	5.70		粘土混じり細砂	淡黄灰	中ぐらい		全体に、粒子ほぼ均一で粘土，浮石，炭化物を混入する。含水少ない。
6 7	26.12	2.10	7.80		シルト質細砂	暗褐灰	中ぐらい		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを多く混入する。含水少ない。
8 9 10 11 12 13 14	19.32	6.80	14.60		シルト混じり細砂	暗褐灰～暗褐	密な～非常に密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを混入する。含水少ない。
15 16 17	15.92	3.40	18.00		シルト質細砂	暗褐灰	密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを多く混入する。含水少～中位。
18 19 20 21 22 23 24	10.69	5.23	23.23		シルト質細砂	暗褐	非常に密な		全体に、粒子均一でシルトを多く混入する。含水少ない。

孔内水位(m)／測定月日：11.60／▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1/21	1/12		2/33	2
1.48 2.15	3	3	4	10/30	10
2.45 3.15	3	4	4	11/30	11
3.45 4.15	4	6	9	19/30	19
4.45 5.15	6	8	12	26/30	26
5.45 6.15	2	3	5	10/30	10
6.45 7.15	4	5	7	16/30	16
7.45 8.15	9	12	17	38/30	38
8.45 9.15	11	13	14	38/30	38
9.45 10.15	12	24	14/6	50/26	58
10.41 11.15	13	26	11/5	50/25	
11.40 12.15	14	14	22/9	50/29	52
12.44 13.15	39	11/5		50/15	
13.30 14.15	45	5/2		50/12	
14.27 15.15	7	9	16	32/30	32
15.45 16.15	8	11	14	33/30	33
16.45 17.15	10	12	17	39/30	39
17.45 18.15	10	21	19/8	50/28	54
18.43 19.15	11	18	21/9	50/29	52
19.44 20.15	14	17	19	50/30	50
20.45 21.15	13	35	2/1	50/21	
21.36 22.15	46	4/2		50/12	
22.27 23.15	50/8			50/8	
23.23					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
		1.00		Ⓣ	物理 力学	
		1.85				
		6.00		Ⓢ	物理 力学	
		6.65				
		15.00		Ⓢ	物理 力学	
		15.85				

ボーリング柱状図

調査名	千葉市斎場会館（仮称）建設地地質調査業務委託
事業・工事名	
ボーリングNo.	
シートNo.	

ボーリング名	No.3	調査位置	千葉市緑区平山町地内他1			北緯	
発注機関	千葉市役所　建設局　土木部　工務課			調査期間	平成12年 1月17日～12年 1月22日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	H=+28.09m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種
総掘進長	27.24m							

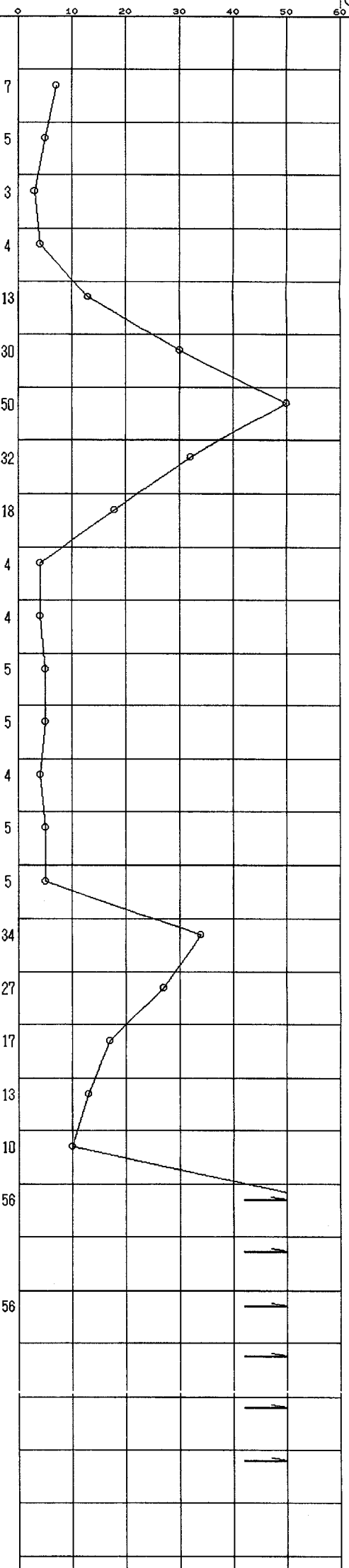
試錐機	KANO KR-50C	ハンマー落下用具	コーンプーリー
エンジン	YANMAR NFAD7	ポンプ	KANO V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	27.49	0.60	0.60		表土（粘性土）	黒褐灰			全体に、粘性土からなり草根を混入する。含水中位。
1～4	23.39	4.10	4.70		火山灰質粘土	黒茶褐～乳黄灰		軟らかい～中位	全体に、二次堆積したローム，凝灰質粘土からなる。部分的に、砂，有機物を混入する。含水中位。
5	22.09	1.30	6.00		シルト質細砂	黄褐	中ぐらい		全体に、粒子均一でシルトを多く混入する。含水少ない。
6～8	19.19	2.90	8.90		シルト混じり細砂	暗褐	密な～非常に密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを混入する。上部、酸化物を混入する。含水少ない。
9	18.29	0.90	9.80		シルト	黄褐		非常に硬い	全体に、均質なシルトからなる。含水少ない。
10～11	16.19	2.10	11.90		シルト	暗灰		中位	全体に、均質なシルトからなり貝殻片を少量混入する。部分的に、砂を混入する。含水少ない。
12～13	14.29	1.90	13.80		砂混じりシルト	暗灰		中位	全体に、均質なシルトからなり砂を混入する。含水少ない。
14～16	11.29	3.00	16.80		シルト	暗灰		中位	全体に、均質なシルトからなり貝殻片を少量混入する。部分的に、砂を混入する。含水少ない。
17～19	8.29	3.00	19.80		シルト質細砂	暗灰～黄灰	中ぐらい～密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを多く混入する。含水多い。
20～21	6.19	2.10	21.90		砂質シルト	暗灰		硬い	全体に不均質で砂を多く混入する。含水中位。
22～23	4.09	2.10	24.00		シルト混じり細砂	暗褐	非常に密な		全体に、粒子ほぼ均一でシルトを混入する。含水少ない。
24～27	0.85	3.24	27.24		細砂	暗灰	非常に密な		全体に、粒子やや不均一で中砂を混入する。所々、シルトを混入する。含水少～中位。
28～29									

孔内水位(m)／測定月日：7.70

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	2	2	3	7/30	7
1.45～2.15	2	1	2	5/30	5
2.45～3.15	1	1	1	3/30	3
3.45～4.15	2	1	1	4/30	4
4.45～5.15	3	4	6	13/30	13
5.45～6.15	10	10	10	30/30	30
6.45～7.15	15	16	19	50/30	50
7.45～8.15	10	10	12	32/30	32
8.45～9.15	6	6	6	18/30	18
9.45～10.15	1	1	2	4/30	4
10.45～11.15	1	2	1	4/30	4
11.45～12.15	2	1	2	5/30	5
12.45～13.15	2	1	2	5/30	5
13.45～14.15	1	2	1	4/30	4
14.45～15.15	2	1	2	5/30	5
15.45～16.15	2	1	2	5/30	5
16.45～17.15	4	8	22	34/30	34
17.45～18.15	6	6	15	27/30	27
18.45～19.15	5	5	7	17/30	17
19.45～20.15	4	4	5	13/30	13
20.45～21.15	3	3	4	10/30	10
21.45～22.15	12	18	20/7	50/27	56
22.42～23.15	17	22	11/5	50/25	
23.40～24.15	13	22	15/7	50/27	56
24.42～25.15	27	23/8		50/18	
25.33～26.15	50/9			50/9	
26.24～27.15	50/9			50/9	
27.24					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
2.00～2.80	Ⓣ	物理力学	
5.00～5.75	Ⓢ	物理力学	
11.00～11.75	Ⓣ	物理力学	

掘進月日

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.										
シートNo.										

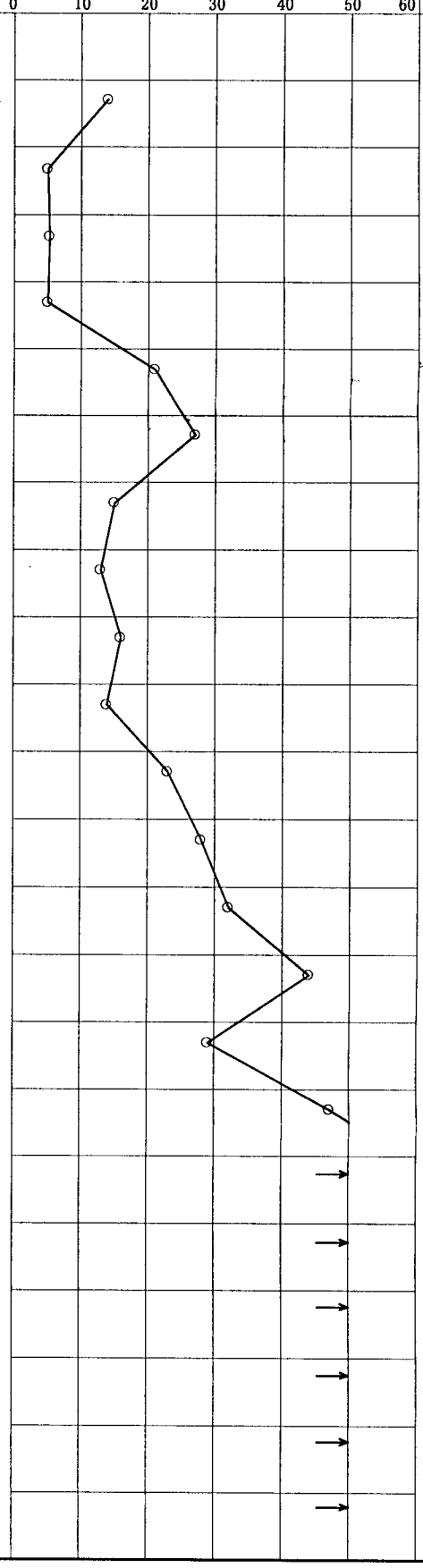
ボーリング名	Ｎｏ．１	調査位置	千葉市緑区平山町地内他			北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 12年 10月 24日 ～ 12年 10月 26日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +19.20m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンブ゛ーリー
総掘進長	22.27m								エンジン	NS70	ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	18.45	0.75	0.75		表土・細砂	暗褐～暗黄褐			0.40m迄、半固結状の細砂。小礫混入 以深、均一な細砂
1	17.60	0.85	1.60		ローム質シルト	乳茶褐		硬い	全体に半固結～固結状 色調変化激しい
2 3 4	14.05	3.55	5.15		シルト	暗灰～暗青灰		中位の	非常に均一なシルト 含水中位 所々に少量の貝殻片を点在する 粘性弱い
	13.60	0.45	5.60		粘土混じり細砂	暗茶灰	中位の		中粒の細砂。均一
6 7	11.70	1.90	7.50		細砂	淡茶灰	中位の		非常に細粒で均一である 全体にシルト分を少量混入 含水中位
8	10.70	1.00	8.50		シルト混じり細砂	淡茶灰	中位の		細粒で均一な細砂 シルト全体に多量混入
9 10 11 12 13 14 15	3.20	7.50	16.00		細砂	淡茶灰～暗灰	中位の～密な		砂の粒子細かく非常に均一 含水中位 全体にシルト分を混入する 他の混入物、極めて少ない
16 17 18 19 20 21 22	-3.07	6.27	22.27		細砂	暗灰	非常に密な		上部に較べ、砂の粒子若干粗く中粒な細砂主体である 非常に均一 含水小～中位 シルト分の混入比較的少量である

孔内水位(m)／測定月日：10/25 0.63／10/26 2.60

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	6	14/30	14
1.45 2.15	2/14	2	2/12	6/36	5
2.51 3.15	2/13	2	2/11	6/34	5
3.49 4.15	2/13	2/11	1/6	5/30	5
4.45 5.15	5	7	9	21/30	21
5.45 6.15	5	8	14	27/30	27
6.45 7.15	4	4	7	15/30	15
7.45 8.15	4	4	5	13/30	13
8.45 9.15	4	5	7	16/30	16
9.45 10.15	4	4	6	14/30	14
10.45 11.15	7	7	9	23/30	23
11.45 12.15	6	8	14	28/30	28
12.45 13.15	7	10	15	32/30	32
13.45 14.15	8	15	21	44/30	44
14.45 15.15	6	8	15	29/30	29
15.45 16.15	12	15	20	47/30	47
16.45 17.15	14	25	11/4	50/24	63
17.39 18.15	16	21	13/6	50/26	58
18.41 19.15	21	29/7		50/17	88
19.32 20.15	18	32		50/20	75
20.35 21.15	22	28/8		50/18	83
21.33 22.15	39	11/2		50/12	125
22.27					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				10/24
				10/25
				10/26

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.	
シートNo.	

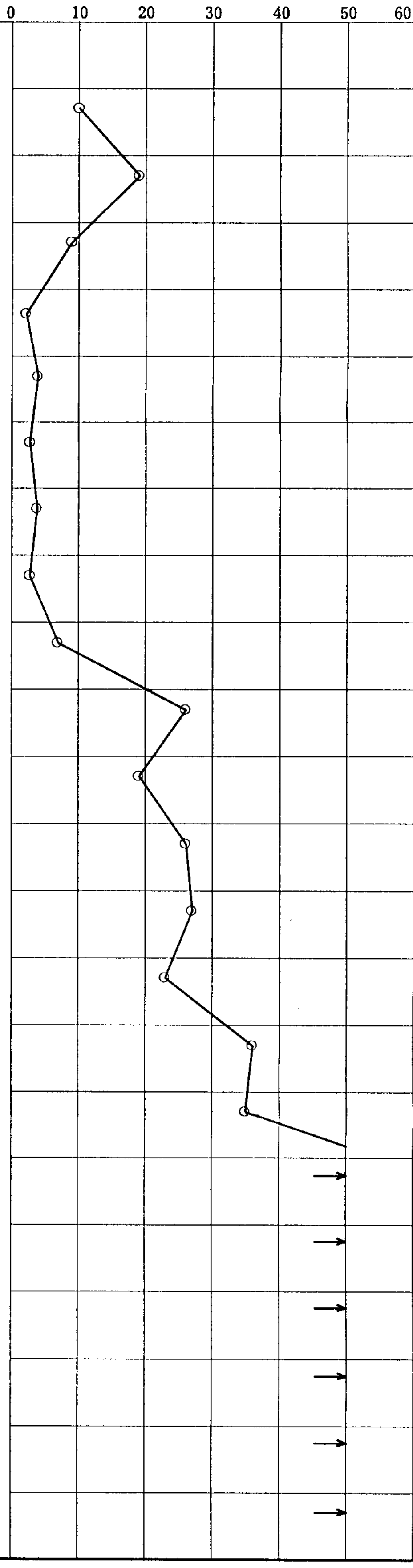
ボーリング名	No．2	調査位置	千葉市緑区平山町地内他	北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課	調査期間	平成 12年 10月 25日 ～ 12年 10月 26日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	TP +21.22m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	22.34m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°		
使用機種 試錐機	KR－100	ハンマー落下用具	コーンプーリー		
使用機種 エンジン	NS70	ポンプ	V－6		

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
18.92	2.30	2.30	細砂	暗黄褐	中位の		細粒な細砂を主体とする 一部、半固結状となる 含水小～中位 シルトを薄層状に少量はさむ
17.82	1.10	3.40	砂混じりシルト	暗茶褐		硬い	全体に半固結状で粘性弱い 含水中位 若干、火山灰質である
17.32	0.50	3.90	細砂	暗灰			粒子不均一。含水中位
12.02	5.30	9.20	シルト	暗灰		軟らかい	全体に非常に均一なシルトである 含水中位 所々、極く少量の貝殻片を混入する 他の混入物、極めて少ない 一部、半固結状となる
8.42	3.60	12.80	細砂	暗灰～淡茶灰	緩い～中位の		非常に細粒で均一な細粒砂よりなる 含水中位 全体にシルト分を混入する 10m以深、シルトを薄層状に挟む
6.32	2.10	14.90	シルト混じり細砂	淡黄灰	中位の		非常に細粒な細砂を主体とする 含水中位。均一である 全体にシルト分を多く混入
-0.58	6.90	21.80	細砂	暗黄灰	密な～非常に密な		非常に細粒で均一な細砂よりなる 含水中位 他の混入物、極めて少ない 18m付近、砂の粒子更に細かく微細砂状である 部分的に酸化変色した細砂層を挟む
-1.12	0.54	22.34	細砂	暗灰	極密		砂は中粒細砂主体 含水中位

孔内水位(m)／測定月日：10/25 1.25、10/27 3.63

標準貫入試験

深度 (m)	0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15～1.45	2	4	4	10/30	10
2.15～2.45	4	5	10	19/30	19
3.15～3.45	3	3	3	9/30	9
4.15～4.57	1/13	1	1/19	3/42	2
5.15～5.45	1	2/15	1/5	4/30	4
6.15～6.47	1/12	1	1	3/32	3
7.15～7.46	1/11	1	2	4/31	4
8.15～8.47	1/15	1/6	1/11	3/32	3
9.15～9.45	1	2	4	7/30	7
10.15～10.45	6	9	11	26/30	26
11.15～11.45	4	6	9	19/30	19
12.15～12.45	6	9	11	26/30	26
13.15～13.45	6	9	12	27/30	27
14.15～14.45	5	7	11	23/30	23
15.15～15.45	8	11	17	36/30	36
16.15～16.45	12	11	12	35/30	35
17.15～17.39	14	24	12/4	50/24	63
18.15～18.35	20	30		50/20	75
19.15～19.33	22	28/8		50/18	83
20.15～20.35	20	30		50/20	75
21.15～21.35	15	35		50/20	75
22.15～22.43	24/19	26/9		50/28	54



原位置試験（深度(m)、試験名および結果）／試料採取（深度(m)、試料番号、採取方法）／室内試験：記載なし

掘進月日：10/25（深度約8.5m）、10/26（深度約22.3m）

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.										
シートNo.										

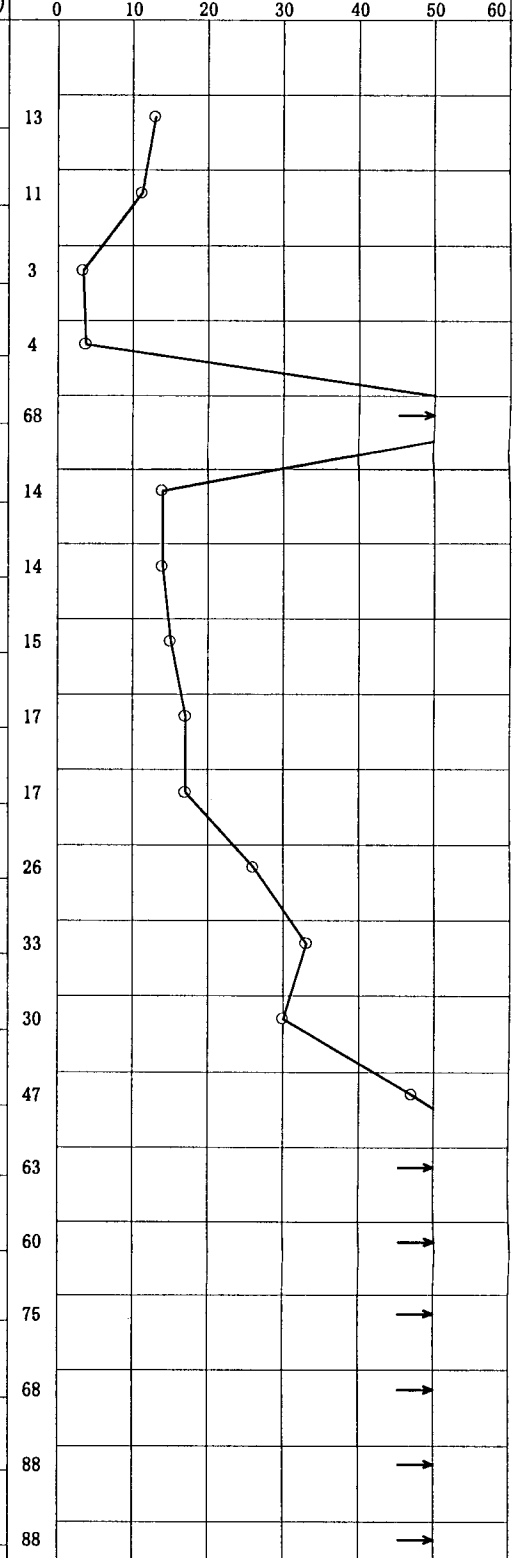
ボーリング名	No.3	調査位置	千葉市緑区平山町地内他			北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 12年 10月 31日 ～ 12年 11月 1日	東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +19.48m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンブ゛ーリー
総掘進長	20.32m								エンジン	NS70	ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	19.18	0.30	0.30		表土	暗褐			草根混入、細砂主体
	18.73	0.45	0.75		シルト質細砂	暗灰			シルト多量混入。含水中位
1	17.68	1.05	1.80		シルト	暗褐灰		硬い	半固結状の凝灰質なシルト 含水小位。細砂混入。粘性弱い
2 3 4	14.48	3.20	5.00		シルト	暗灰～暗青灰		硬い～軟らかい	非常に均一なシルト 含水小にて一部、半固結状 極く少量の貝殻片を混入 粘性弱い
5 6 7 8 9 10 11 12	6.58	7.90	12.90		シルト混じり細砂	淡茶灰	中位の		砂は非常に細粒で均一である 全体にシルト分を混入 含水中位 6m付近、砂の粒子さらに細粒となる 9m付近、シルトをﾌﾞﾛｯｸ状に混入する 12m付近、シルト不規則に少量混入する 非常に均一な細粒細砂である
13 14 15	3.98	2.60	15.50		細砂	淡茶灰	密な～非常に密な		砂の粒子非常に細粒で均一である 部分的に半固結状態である 含水中位 シルトを全体に混入
16 17 18 19 20	-0.84	4.82	20.32		細砂	暗灰	非常に密な		砂の粒子細粒で均一 含水中位 全体にシルト分を少量混入 19m付近、砂の粒子若干粗くなる

孔内水位(m)／測定月日：10/31 0.68 ▽；11/1 2.03 ▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	4	4	5	13/30	13
2.15	3/11	5	4/11	12/32	11
3.15	1/13	1	2/13	4/36	3
4.15	1	1	2/12	4/32	4
5.15	20	25	5/2	50/22	68
6.15	4	4	6	14/30	14
7.15	4	4	6	14/30	14
8.15	4	5	6	15/30	15
9.15	4	6	7	17/30	17
10.15	5	5	7	17/30	17
11.15	8	9	9	26/30	26
12.15	7	11	15	33/30	33
13.15	6	10	14	30/30	30
14.15	9	15	23	47/30	47
15.15	12	27	11/4	50/24	63
16.15	14	22	14/5	50/25	60
17.15	18	32		50/20	75
18.15	22	22	6/2	50/22	68
19.15	26	24/7		50/17	88
20.15	24	26/7		50/17	88



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：10/31、11/1

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No．4	調査位置	千葉市緑区平山町地内他					北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 12年 10月 31日 ～ 12年 11月 1日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +19.96m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	
総掘進長	23.35m								

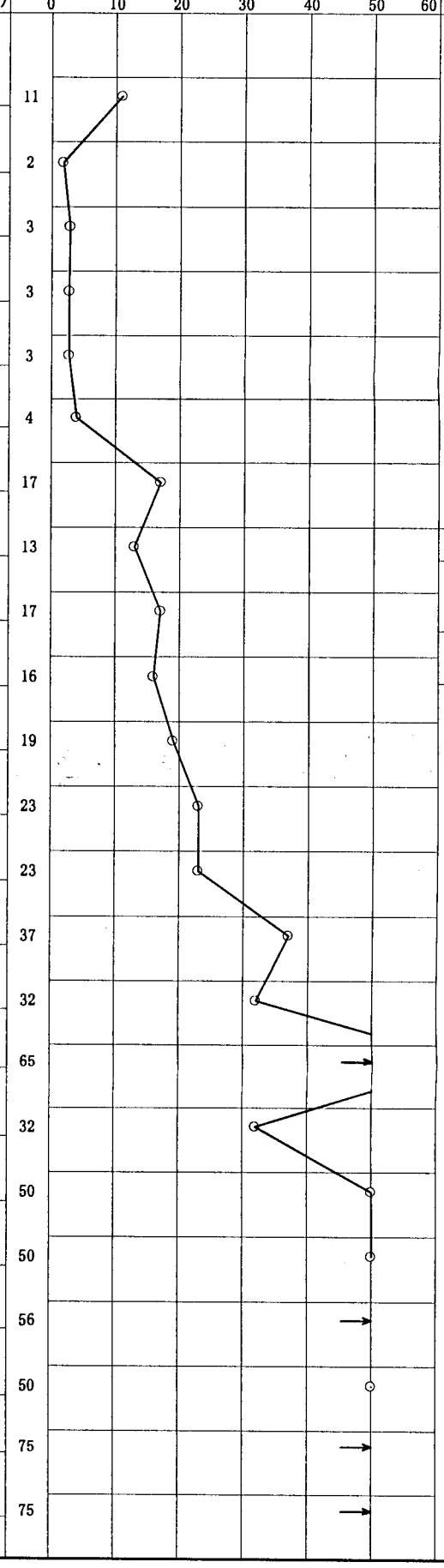
試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンブ゛ーリー
エンジン	NS70	ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	19.06	0.90	0.90		細砂	暗褐			不均一な細砂主体 0.4m以深、非常に締まっている
1	18.06	1.00	1.90		シルト	暗茶褐		硬い	凝灰質で粘性弱い 半固結状。細砂をブロック状に混入
2 3 4 5 6	13.36	4.70	6.60		シルト	暗灰		軟らかい	上部若干の腐植物を少量混入 含水中位。全体に均一である 3～4m間細砂を薄く挟在する
7 8 9 10 11	8.16	5.20	11.80		細砂	淡茶褐	中位の		細粒な細砂を主体とし，均一である 含水中位 全体にシルト分を混入 8m付近、シルトを薄く挟在する
12 13	6.06	2.10	13.90		シルト混じり細砂	淡茶灰	中位の		細粒な細砂で非常に均一 含水中位 全体にシルト分を多量に混入する
14	5.16	0.90	14.80		細砂	暗褐	密な		細粒砂主体。含水中位 浮石少量混入
15	4.51	0.65	15.45		シルト混じり細砂	淡茶灰	密な		ブロック状にシルト挟在 含水中位。半固結状
16 17 18	1.06	3.45	18.90		細砂	淡茶灰	密な～非常に密な		細粒で均一な細粒砂を主体とする 含水中位 全体にシルト分を混入する 他の混入物、極めて少ない
19 20 21 22 23	-3.39	4.45	23.35		細砂	淡茶灰～暗灰	非常に密な		全体に中粒な細砂を主体とする が、細粒砂も多く混入する 含水中位 他の混入物は極めて少ない

孔内水位(m)／測定月日：10/31 0.50 ▽；11/1 3.55 ▽

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	4	5	11/30	11
1.45 2.15	1/20	1/13		2/33	2
2.48 3.15	1/12	1	1/9	3/31	3
3.46 4.15	1	1	1/12	3/32	3
4.47 5.15	1/13	1/12	1/7	3/32	3
5.47 6.15	2/13	1/7	1	4/30	4
6.45 7.15	4	6	7	17/30	17
7.45 8.15	4	4	5	13/30	13
8.45 9.15	4	6	7	17/30	17
9.45 10.15	5	5	6	16/30	16
10.45 11.15	5	7	7	19/30	19
11.45 12.15	7	7	9	23/30	23
12.45 13.15	5	8	10	23/30	23
13.45 14.15	9	12	16	37/30	37
14.45 15.15	10	11	11	32/30	32
15.45 16.15	17	22	11/3	50/23	65
16.38 17.15	8	11	13	32/30	32
17.45 18.15	14	19	17	50/30	50
18.45 19.15	11	18	21	50/30	50
19.45 20.15	16	17	17/7	50/27	56
20.42 21.15	10	10	30	50/30	50
21.45 22.15	20	30		50/20	75
22.35 23.15	22	28		50/20	75
23.35					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
8.00	透水試験
8.50	
9.60	孔内水平載荷試験
10.40	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
2.70	T-1	
3.50	土壌分析	
4.00		
5.50	T-2	
6.20		
15.00	土壌分析	
15.50		

室内試験（　）

掘進月日：10/31　11/1

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

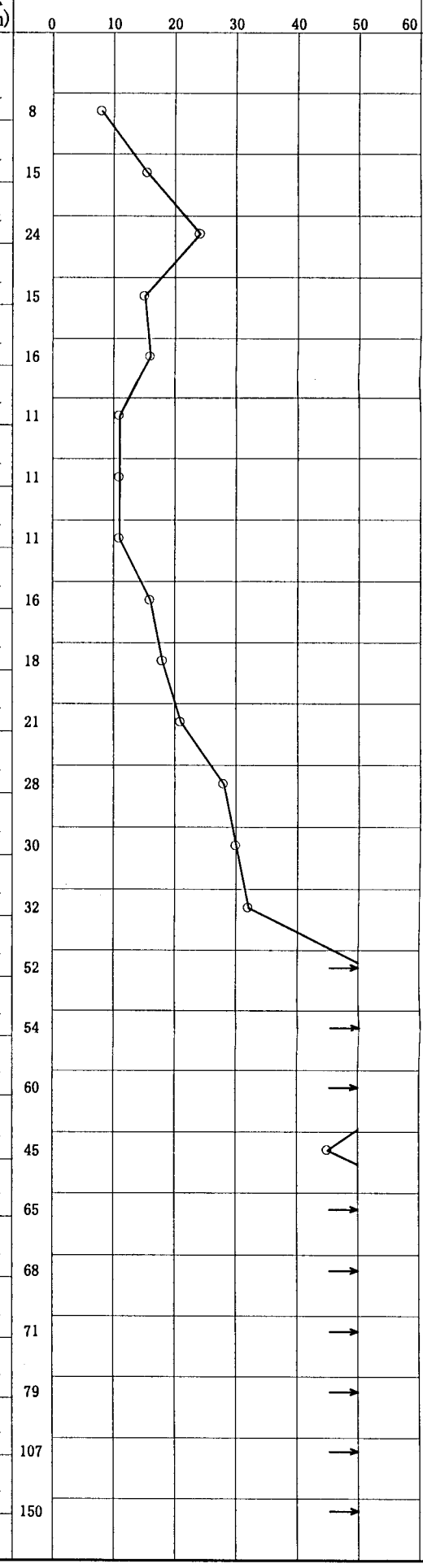
ボーリング名	No.5	調査位置	千葉市緑区平山町地内他						北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 12年 10月 27日 ～ 12年 10月 28日				東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	TP +19.20m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	KR-100	ハンマー落下用具	コーンフ゛ーリー
総掘進長	24.25m								エンジン	NS70	ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	18.50	0.70	0.70		表土	暗褐			細砂主体、一部半固結状 草根混入
1					硬質シルト	茶褐～暗灰		硬い	全体に半固結状 含水小位。粘性弱い 2m付近より砂混入
2	16.80	1.70	2.40						
3					細砂	淡黄灰	中位の		中粒の細砂主体。均一 シルト少量混入 4m付近より細粒砂となる
4	14.60	2.20	4.60						
5	13.70	0.90	5.50		細砂	暗茶褐	中位の		細粒な細砂で均一。含水中位
6					細砂	淡茶灰～灰	中位の～密な		非常に細粒な細砂を主体とし、均一である 含水中位 全体にシルト分を混入する 色調変化有り 8m付近より砂の粒子更に細粒となる 12m付近より砂は微細砂状でシルト混入
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14	4.50	9.20	14.70						
15					細砂	暗緑灰～暗灰	密な～非常に密な		細粒な細砂を主体とし、全体に均一である 含水中位 部分的に半固結状となる 17m付近より砂の粒子、若干粗くなる 又、シルトの混入量少なくなる 23m付近、浮石を少量挟む 24m付近、中砂(石英粒)を混入
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24	-5.05	9.55	24.25						

孔内水位(m)／測定月日：10/27 0.85　10/28 1.87

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	3/13	2/7	8/30	8
1.45–2.15	5/11	6	5	16/31	15
2.46–3.15	7	11	6	24/30	24
3.45–4.15	4	4	7	15/30	15
4.45–5.15	4	5	7	16/30	16
5.45–6.15	3	3	5	11/30	11
6.45–7.15	3	3	5	11/30	11
7.45–8.15	3	3	5	11/30	11
8.45–9.15	4	5	7	16/30	16
9.45–10.15	5	6	7	18/30	18
10.45–11.15	5	7	9	21/30	21
11.45–12.15	6	10	12	28/30	28
12.45–13.15	6	10	14	30/30	30
13.45–14.15	6	9	17	32/30	32
14.45–15.15	12	15	23/9	50/29	52
15.44–16.15	13	19	18/8	50/28	54
16.43–17.15	17	21	12/5	50/25	60
17.40–18.15	10	15	20	45/30	45
18.45–19.15	15	25	10/3	50/23	65
19.38–20.15	14	28	8/2	50/22	68
20.37–21.15	13	32	5/1	50/21	71
21.36–22.15	25	25/9		50/19	79
22.34–23.15	33	17/4		50/14	107
23.29–24.15	50			50/10	150
24.25					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						10/27
						10/28

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市斎場会館（仮称）新築地質調査他業務委託

事業・工事名

ボーリングNo.

シートNo.

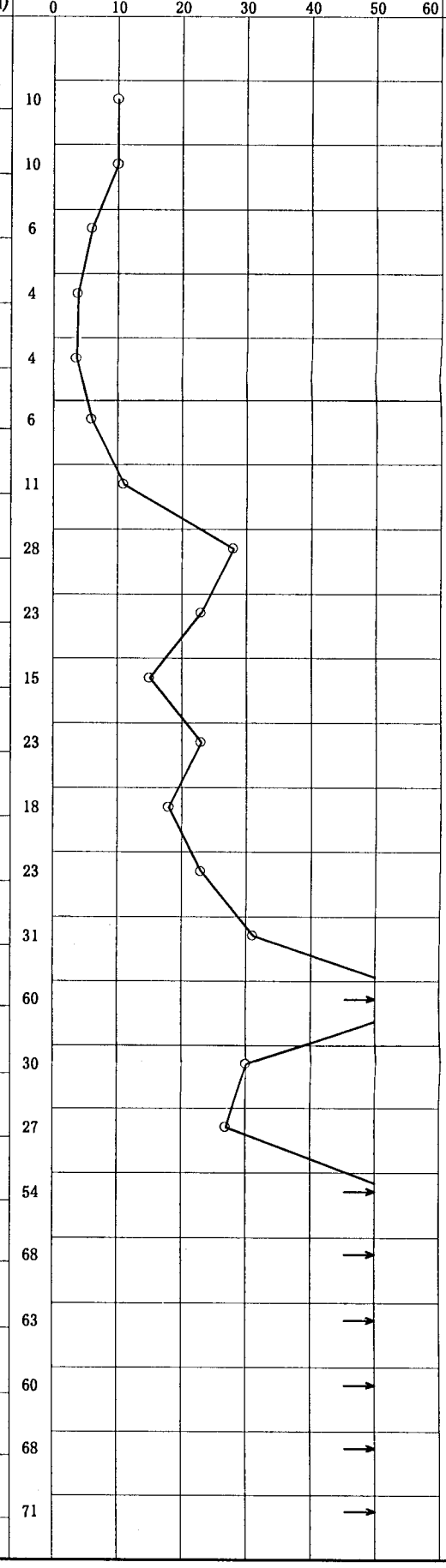
ボーリング名	No．6	調査位置	千葉市緑区平山町地内他					北緯	
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			調査期間	平成 12年 10月 24日 ～ 12年 10月 25日			東経	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +20.24m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	23.36m							試錐機	KR-100
								エンジン	NS70
								ハンマー落下用具	コーンブ゛ーリー
								ポンプ	V-6

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1	18.44	1.80	1.80		細砂	暗茶褐	中位の		上部、草根混入 シルト分を全体に混入 含水中位
2	17.24	1.20	3.00		シルト	黄褐		硬い	凝灰質で粘性弱い 含水小位。半固結状である
3～7	13.14	4.10	7.10		シルト	暗灰		中位の	均一なシルトで砂分の混入は少ない 含水中位 5m以深に貝殻片を少量混入する 一部、半固結状である
7～9.80	10.44	2.70	9.80		細砂	暗灰～淡褐灰	中位の		上部シルトを多量に混入 細粒で均一な細砂である 7.2～8m間、貝殻片少量混入
10～13.90	6.34	4.10	13.90		シルト混じり細砂	淡褐灰	中位の		非常に細粒な細砂を主体とし、均一である 含水中位 全体にシルト分を多量に又、薄層状に混入
14	5.54	0.80	14.70		細砂	淡褐灰	密な		細砂主体。所々、浮石混入 含水中位
15	4.94	0.60	15.30		シルト混じり細砂	淡褐灰	極密		ブロック状にシルト混入 均一な細砂。含水中位
16～23	-3.12	8.06	23.36		細砂	淡褐灰～暗灰	中位の～非常に密な		全体に細粒で均一な細砂よりなる 含水中位 全体にシルトを混入 20m付近、浮石を薄く挟在 砂の粒子若干粗く、シルトの混入少なくなる

孔内水位(m)／測定月日：10/25 3.60、10/24 7.00

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	3	4	10/30	10
1.45～2.15	3	2	5	10/30	10
2.45～3.15	2/13	2	2/7	6/30	6
3.45～4.15	1	2/15	1/6	4/31	4
4.46～5.15	1	1	2/13	4/33	4
5.48～6.15	2	2	2	6/30	6
6.45～7.15	2	3	6	11/30	11
7.45～8.15	7	10	11	28/30	28
8.45～9.15	6	8	9	23/30	23
9.45～10.15	3	5	7	15/30	15
10.45～11.15	6	7	10	23/30	23
11.45～12.15	4	6	8	18/30	18
12.45～13.15	5	7	11	23/30	23
13.45～14.15	8	11	12	31/30	31
14.45～15.15	14	17	19/5	50/25	60
15.40～16.15	9	11	10	30/30	30
16.45～17.15	8	7	12	27/30	27
17.45～18.15	13	20	17/8	50/28	54
18.43～19.15	20	24	6/2	50/22	68
19.37～20.15	13	25	12/4	50/24	63
20.39～21.15	15	23	12/5	50/25	60
21.40～22.15	16	26	8/2	50/22	68
22.37～23.15	20	27	3/1	50/21	71
23.36					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						10/24
						10/25